

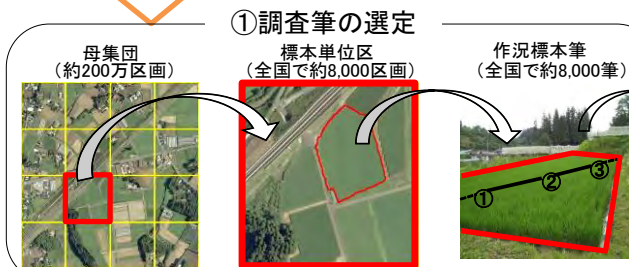
# (参考) 水稲作況調査について

- 水稲作況調査は、標本調査を実施しており、全体の縮図となるように水稲作付ほ場から無作為に調査筆を選定（全国で約8,000筆）し、実測調査により10a当たり収量の平均値を算定。飯用に供し得る玄米の全量を把握するため、収量基準を農産物規格規程三等以上かつ1.70mm以上のふるい目幅としている。
- 作況指数は、収穫量全体の多少ではなく、10a当たり収量の多少を平年収量と比較して示している指標。農家の実感を踏まえ、都道府県ごとに、最も多くの農家が使用しているふるい目幅で算定。
- 生産現場の実態を踏まえふるい目幅別に推定した10a当たり収量、収穫量も公表。

## ○ 水稲作況調査の仕組み

全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した区画から、無作為に区画を抽出し、水稲が作付けされているほ場1枚を作況標本筆として無作為に抽出

作況標本筆において、3か所の調査箇所ごとに1㎡分（合計3㎡分）の稲を刈取り

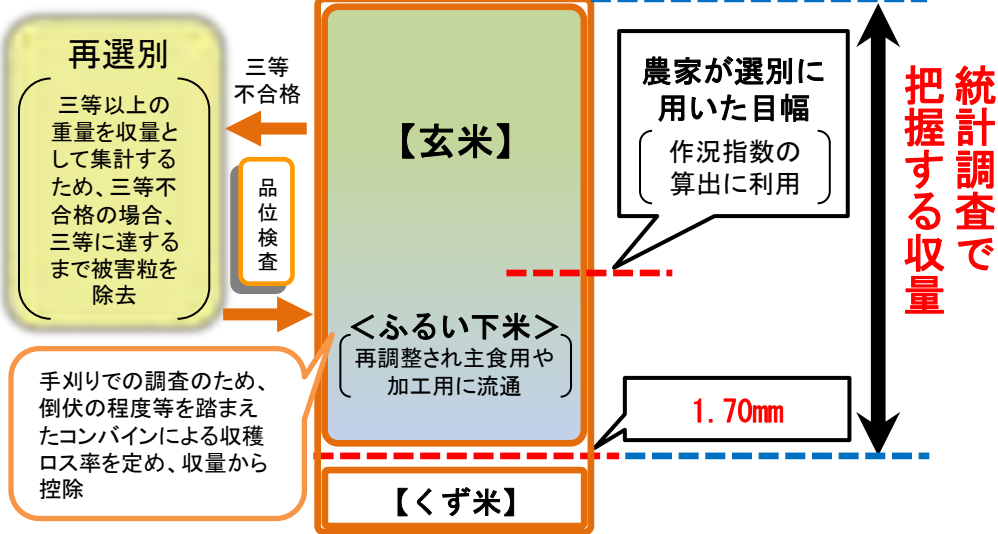


②ほ場での刈取り調査(坪刈り)



※飼料用米など食用以外の用途のほ場は選定しない。

## ○ 収穫量調査の基準



手刈りでの調査のため、倒伏の程度等を踏まえたコンバインによる収穫ロス率を定め、収量から控除

## ○ 作況指数

$$\text{作況指数} = \frac{\text{10a当たり収量 (農家ふるい目幅ベース)}}{\text{10a当たり平年収量 (農家ふるい目幅ベース)}} \times 100$$

都道府県ごとに最も多くの農家が使用しているふるい目幅

10a 当たり平年収量は、気象などが平年並みに推移したと仮定した場合の10a 当たり収量として算定

## ○ ふるい目幅別10a当たり収量、収穫量

全国・農業地域別・都道府県別に公表

全 国 都道府県	単位: kg						全 国 都道府県	単位: t					
	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上		1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
全 国	540	536	530	522	508	443	全 国	7,345,000	7,294,000	7,205,000	7,095,000	6,904,000	6,030,000
北 海 道	592	588	583	575	562	499	北 海 道	562,400	559,000	553,400	546,700	534,300	474,100
沖 縄	328	326	322	317	307	259	沖 縄	1,960	1,950	1,930	1,890	1,830	1,550